

齋藤茂樹の 北関東巡り



令和5年(2023) 1月12日

6

私が年末年始に毎年行うことは、実家に帰省し世良田東照宮にお参りすることと、1月1日に全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤースタート）の沿道での観戦です。

徳川家康を祀る 世良田東照宮



NHK大河ドラマ『**どうする家康**』が始まりました。これまでの徳川家康像が覆されるかもしれません。群馬県太田市世良田町に「東照大権現」*としての家康を祀った世良田東照宮があります。世良田東照宮は、徳川家康を祭神とする東照宮の一つです。

*徳川家康の勅諡号。死の翌年(元和三年)、後水尾天皇から贈られた神号(神の称号)

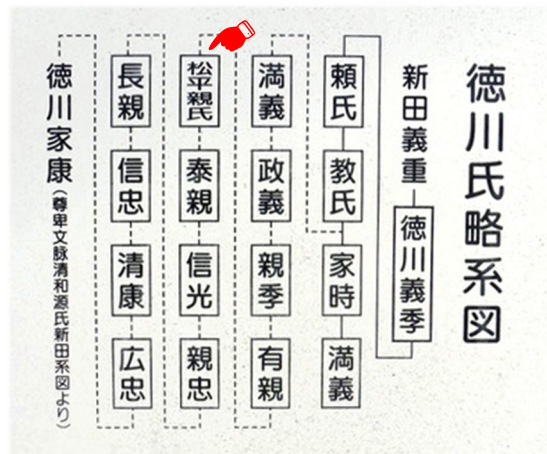
元和3年(1617)に駿河国久能山(久能山東照宮)より下野国日光(日光東照宮)へ家康の遺骸を改葬した際に建てられた社殿を、寛永21年(1644)に上野国世良田へ移築し、創建されました。太田市内の他の社寺、館跡とともに「新田荘遺跡」として国の史跡に指定されています。



右の徳川氏略系図は、世良田東照宮に隣接する新田荘歴史資料館に掲げられているものです。

この地は新田氏の開祖の新田義重（源義重）の居館跡とされており、義重の四男新田義季がこの地（新田荘の世良田郷と得川郷）を領有することになり徳川を名乗ることになります。

そののちこの略系図に松平親氏と書かれている徳川親氏が諸国を遍歴し、三河にたどり着いて松平を名乗ったとされています。



松平親氏から徳川家康につながり、この地が徳川発祥の地として将軍家から厚い庇護を受けることになります。社殿は徳川秀忠（家康の三男）時代の日光東照宮の社殿を移築したもので、本殿と拝殿は国の重要文化財になっています。

先日行ったときには本殿は修復中で観ることができませんでしたが、本殿には巢の中にいる三羽の鷹のひな鳥を親鳥が見守っているという構図の「巢ごもりの鷹」という彫刻があり、左甚五郎作と伝えられています。

今年のNHK大河ドラマが徳川家康の話とあって、いたる所に『**どうする家康**』ののぼり旗がありました。

ニューイヤー駅伝inぐんま



第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝inぐんま）が、1月1日群馬県で行われました。

コースは、群馬県庁をスタート、高崎市役所～前橋市～伊勢崎市役所～太田市役所～桐生市役所～伊勢崎市を巡り、ゴールの群馬県庁まで、7区間 100 kmにわたります。全国6地区の予選を勝ち抜いた37チームが参加し、群馬県からは「SUBARU」が出場しました。優勝チームは「Honda」陸上競技部、連覇を達成しました。

〔バックナンバー〕

- 齋藤茂樹の北関東巡り1
- 齋藤茂樹の北関東巡り2
- 齋藤茂樹の北関東巡り3
- 齋藤茂樹の北関東巡り4
- 齋藤茂樹の北関東巡り5

[Back](#)[「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る](#)[Home](#)[「ホームページ」表紙へ戻る](#)